

おさかな アパレル

～漫湖三三三水族館～

会場：漫湖水鳥・湿地センター1F 企画展示室

期間：2011.9/13(火) - 9/25(日)

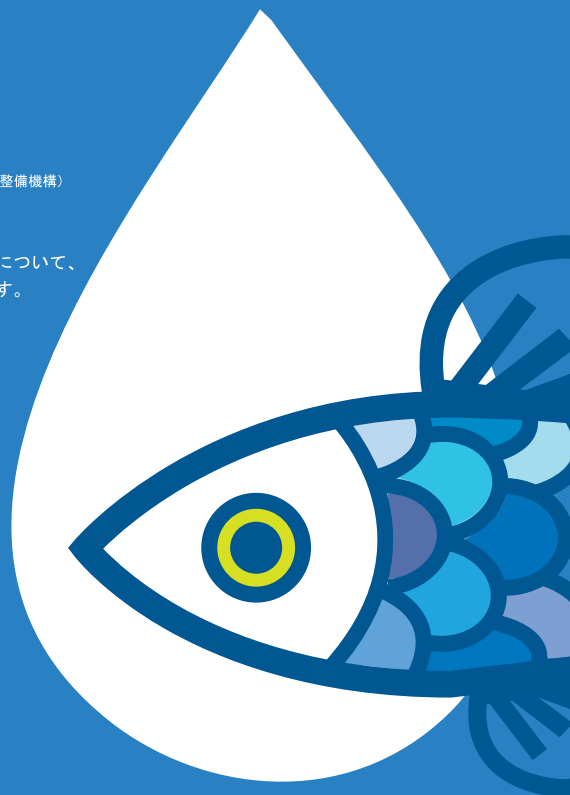
関連イベント

● ギャラリートーク「漫湖さかな塾」

日時：2011年9月23日(金)
午前の部 10:00～11:00
午後の部 14:00～15:00
会場：漫湖水鳥・湿地センター1F
講師：前田 健氏(理学博士(独) 沖縄科学技術研究基盤整備機構)
定員：各20名
参加費：無料
内容：漫湖で見られる魚の生態や研究の裏話などについて、
展示された魚を見ながらお話ししてくれます。

● 魚の観察会「水の中のいきものたち」

日時：2011年9月18日(日)
14:00～16:00
対象：小学生以上(※低学年は保護者同伴)
定員：20名
参加費：¥100(※保険料として)
内容：センターに隣接する水路にて、
魚の観察会を行います。
持ち物：帽子、長靴、タオル、飲み物、筆記用具



[予約・お問い合わせ]

漫湖水鳥・湿地センター ☎ 098-840-5121



今月のトピック

※今月号と来月号の『いきものファイnder』はお休みします。

特集

『漫湖自然学校 - 夏休みは、発見がいっぱい。-』

夏休み本番の8月、センターでは連日のように夏休みスペシャルイベントが行われ、多くの家族連れでにぎわいました。その時の様子を今月から二回にわたってお伝えします。

7/24(日) 絵画教室『たまごから鳥になる』

鳥の絵を描く時、みなさんはまず鳥のどの部分から描き始めますか？ポイントは“たまごのかたち”です。鳥の頭と体を、大・小二つのたまごで考えてみましょう。すると、意外と簡単に全体のバランスがとれます。しかも、この方法はどんな鳥にも応用可能です。これは鳥の絵を描く時のちょっとしたコツみたいなものです。絵画教室に参加したみんなは、自分の描いた素敵な鳥の絵を前にとっても嬉しそうでした。



参加者の作品



ヤエヤマシオマネキ

漫湖水鳥・湿地センター
Manko Waterbird and Wetland Center

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城市 982
TEL : 098-840-5121 FAX : 098-840-5118
E-mail : manko_mizudori@ybb.ne.jp
URL : http://www.geocities.jp/manko_mizudori/

特集

『漫湖自然学校 — 夏休みは、発見がいっぱい。— 』

7/31 (日) ものづくり『マングロープで染めてみよう』

現在漫湖では、湿地の保全事業の一環でマングロープの一部伐採を行っています。もともと沖縄では、古くから染め物の染料としてマングロープ(樹皮の部分)を利用していました。タンニンを多く含んだマングロープは、染めるととても鮮やかな赤褐色に染まります。また、色を定着させるための焙煎液によってその色が変わります。模様は絞り染めという技法を使いました。輪ゴムを使って、ひたすら縛っていくのですが、その縛り方次第で模様がガラッと変わってしまいます。頭でイメージしていても、実際の出来上りを目にすると、想像していた以上の仕上がりに、みんな満足そうでした。今まで、伐採されたマングロープは、その大半が焼却処分されていました。けれど、こうしてセンターのイベントで、子どもたちと一緒にマングロープ染めをする事で、漫湖の自然について考える一つのきっかけになってくれたら、すごく意味のある有効利用だと感じました。



鮮やかな赤褐色に染まった生地を、光にかざして

8/27 (土) 魚の観察会『水の中の生きものたち』

昨年度、講評だった魚の観察会、今年は台風の影響で日程が延期になってしまい、参加できなかったファミリーがたくさんいました。残念ながら参加できなかった皆様、また、来年お待ちしております。さて、観察会の様子はというと、センター近くの水路で、アミを使って魚を採取するのですが、最初はその難しさを体験して欲しかったのですが…、参加した子の中に、魚を捕まえるのがとっても上手な女の子が1人いて、センタースタッフの面目まる潰れでした…。その女の子の上手いこと上手いこと、あれよあれよという間にどんどん魚をゲットしていきます。アミの使い方も一人前です。周りの男の子たちもその凄さに悔しがっていました。この日は付き添いの親御さんもみんなお母さんと、子どもと一緒に魚捕りに奮闘していました。ということで、今年の魚の観察会は、女性が活躍した観察会でした。けど、そのおかげで、たくさんの種類の魚を観察することができました。



お母さんのアミに入った魚、ボクにちょうだい

8/20 (土) カニの観察会『漫湖のかに博士』

カニ観察会はいつも大人気です。小学生向けのカニの観察会は、幼児向けとは少し違って、名前通り『漫湖のかに博士』になるべく、少しでも専門的な部分も分かりやすくお話しします。カニの口はどこかな?カニのオスとメスの見分け方は?など、実際に捕まえたカニを手に、じっくり観察します。参加した子どもたちはみんな、カニ博士を目指してたくさんの疑問、質問を先生に投げかけていました。



はじめてカニを捕まえて、笑顔の女の子

今月の野鳥情報

漫湖寄鳥見鳥 8月

少し早めの秋の渡り、はじまっています。

8月、漫湖に飛来する渡り鳥たちも、シギ・チドリ仲間を中心に少しずつぎやかになってきています。木道から見えるモニタリングフィールドにも、早速アカアシシギやアオアシシギ、チュウシャクシギなど、いつものメンバーが顔を見せています。今年は台風の影響で木道沿いのメヒルギが結構倒れてしまいました。そのせいで、視界がひらけた分、鳥達からも私たちが見えやすくなってしまいました。その事で鳥達に与える影響が少し心配ですが、今のところ大きな影響はなさそうで、昨年まで同様エサを探したり、羽を休めている姿を目にする事ができます。さて、今年はどうな鳥たちに出会えるでしょう。また、楽しい季節がやってきます。



2011. 7/21 - 8/20 漫湖で確認された野鳥

31種

ゴイサギ、ササゴイ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、ヘラサギ、ミサゴ、バン、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ムナグロ、キョウジョシギ、トウネン、アカアシシギ、コアアシシギ、アオアシシギ、イソシギ、ソリハシシギ、チュウシャクシギ、コアジサシ、キジバト、カワセミ、シロガシラ、ヒヨドリ、イソヒヨドリ、セッカ、メジロ、スズメ、ドバト